

令和7年

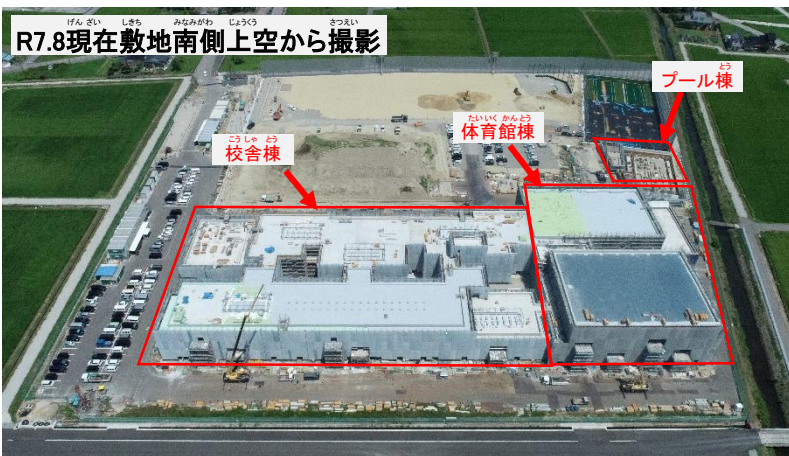
けんせつだより

（仮称）水橋地区義務教育学校整備事業

第15号（8月）

今月の工事進捗状況

現在、校舎棟・体育館棟はともに仕上げ工事、プール棟は躯体工事、外構はグラウンド整備工事を進めています。工事は遅れなく、予定通りの工程で進捗しています。



ワークショップを開催しました！

現場では、地域の子どもたちに参加頂き、県産材の杉を利用した「木のモザイク壁」をつくるワークショップを行いました！様々な大きさの木材ピースを1枚ずつ並べ、貼り付けていきます。現場では子どもたちの笑顔と歓声に包まれ、建物づくりを身近に感じてもらう良い機会となりました。同時に地域の木材を生かした取り組みとして、完成後も親しまれる空間づくりにつながると思います。完成した建物には「木のモザイク壁」がそのまま残り、地域の思い出としてこれからも受け継がれていきます。



水橋学園のみどころ紹介

校舎南側には1～9年生が毎日通って勉強する教室があります。1階で12クラス分の教室がまっすぐ続く長い廊下に沿って並んでいます。教室から望む立山連峰やしばふ広場に加えて、水橋の田園風景の豊かな自然の景色と、南向きで日当たりの良い明るく広々とした空間は、子どもたちが毎日学び、遊び、過ごす場所ならではの大きなみどころです！

みんなが勉強する教室へ！
ワークショップに合わせて現場見学会を行いました！



水橋学園に使う木材

水橋学園では、適材適所で木材を選定しています。県産材の杉は柔らかく加工しやすいので、モザイク壁や天井に、建具には硬く丈夫なナラバウウッド、床には耐久性が高く、空間を明るく見せる色のナラ・カバ材のフローリングを使っています。木の温かみを生かしながらデザインにもこだわった計画となっています。新校舎で、木材の違いを体験してみてくださいね！



△3階にあるメディアラウンジ
床・壁・天井に色んな木材を使っているよ！

建築士（設計者）の仕事 ～デザイン編～

建物には、たくさんの案内サインがあり、サインのデザインも設計者の仕事です。水橋の風景や特色を取り入れた、わかりやすく親しみのあるデザインにしています。サインを取付ける位置も現場で立会いながら決めていきます。完成後に、みんなが見やすく使いやすいサインとなるように工夫しているよ！



けんせつだより作成者から一言

水橋学園を設計したチームメンバーの水谷です。今回は、木材やサインのこだわりについて、設計者のお仕事からお伝えしました！みんなが楽しく過ごせる学校になるように引き続き頑張ります！

発行者

セブンプライド株式会社

フェイスブック

<https://www.facebook.com/7pride.mizuhashi>

を開設しています。是非御覧下さい。
Tell : 076-431-8005

